2009 年度 小委員会活動成果報告

（2010 年 1 月 27 日作成）

小委員会名	各部構法設計小委員会	**主 査 名**：角田　誠 **就任年月**：2008 年 4 月
所属本委員会 （所属運営委員会）	建築計画委員会（構法計画運営委員会）	**委員長名**：布野修司 **主 査 名**：南　一誠
設 置 期 間	2008 年 4 月　～　2012 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 （箇条書き）	・各部構法の実態を把握し、問題点を整理するため、先進的、特徴的な構法を用いた建築物の見学会を実施する。 ・多様化する各部構法において、時代を反映した各部構法を取り上げ、その変容過程を明らかにすることで、トレンド的な構法の成立要因を探る。	
委員構成 （委員名（所属））	**委員公募の有無**：有	
	角田誠(首都大)　小見康夫(東京都市大)　名取発(東洋大)　池尻隆史(東理大)　大島隆一(小山高専)　太田昭夫(OT 住宅研究室)　岡路明良(鹿島)　門脇耕三(首都大)　信太洋行(東大)　中島祐輔(工学院大)　南一誠(芝浦工大)　村上心(椙山女学園大)　野城智也(東大)　山本正人(竹中工務店)	
設置 WG （WG 名：目的）	なし	
2008 年度予算	190,000 円	**ホームページ公開の有無**：有 **委員会 HP アドレス**：http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s2/

項　　目	自己評価
委員会開催数	6 回（年度内計画を含む）
刊行物 （シンポジウム資料等は除く）	なし
講習会	なし
催し物 （シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等）	1．活動報告会　　参加者　15 名 2．RC 集合住宅見学会　　参加者 20 名 3．現代構法の変遷に関する講演会　①CW 構法　　参加者 30 名 ②ガラス構法　　参加者 25 名
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 （当初の活動計画と得られた成果との関係）	1．1990 年代以降の各種の構法の資料について講演会を実施し、ここ 10 年間の技術変化について詳細に把握した。さらに記録化を行い、将来の出版計画への準備を進めた。 2．確立された一般構法の中で定着した構法を用いた建設現場を見学することで、現在求められている技術的な側面に加え、経済的側面が大きく影響していることを実感するとともに、今ある技術の有用性を再認識できた。
委員会活動の問題点・課題	1．より積極的な活動を進めるべく、委員の交代、公募を行う。 2．見学会及び講演会の記録化を通じて、貴重な情報の共有化、並びに散逸を防ぐ。 3．HP による情報発信を積極化する。

＊小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。